

## 1. 近畿分析センターの概要

- 
- 名 称 : 株式会社 近畿分析センター
- 
- 所 在 地 : 〒520-0833 滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号  
TEL 077-534-0651、FAX 077-533-1604
- 
- 設 立 : 1972年2月(関西日本電気株式会社より分離独立)
- 
- 業 務 内 容 : ○環境計量証明  
○作業環境測定  
○建築物飲料水水質検査  
○材料分析・評価試験  
○環境アセスメント・コンサルタント
- 

当社は1972年に関西日本電気株式会社の分析部門が分離独立して発足した分析・測定・調査専門会社であり、環境分析、材料分析及びコンサルタント業務を行っております。

環境管理に関する取り組みでは、会社設立当初からの「公害は絶対に出さない」活動に加え、1998年7月にISO14001を認証取得して「循環型社会」を睨んだ省資源、省エネルギー及び廃棄物削減活動、さらには環境ボランティア等を通じての地域社会への貢献などに積極的に取り組んでおります。

現在の環境マネジメントシステムをよりよいものにスパイラルアップし、高いレベルでの環境管理活動を展開して、地域社会の皆様にご信頼いただける企業を目指す所存でございます。この報告書をご覧いただき、当社の環境管理に関する考え方と活動内容をご理解いただくとともに、ご指導、ご助言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社近畿分析センター

代表取締役 西井捷郎

## 2. 環境方針(環境理念と6つの行動指針で構成)

### 【環境理念】

自然のいとなみを尊重した環境マネジメントシステムを展開し、環境にやさしい事業活動と地球環境保全のための信頼される技術とサービスの提供を行います。

### 【行動指針】

1. 環境動向をすばやく入手し、環境に与える影響を考慮した分析技術の開発に努め、価値ある分析とサービスの提供をする。
2. 環境マネジメントシステムに基づき、事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物削減等の環境保全活動を展開し、継続的改善と環境汚染の未然防止を図る。
3. 環境関連法令、条例、諸規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し自主管理基準を設定する。
4. 環境目的、目標を設定しそれらを達成するための活動計画を策定し実行し定期的な見直しを行う。
5. 環境方針を文書化し、全員に周知徹底すると共に環境教育を計画的に実施し、意識向上を図り環境マネジメント活動を展開する。
6. 環境方針の積極的な公開と環境保全活動への提案を通じて、社会に貢献する。

### 3. 活動の進め方

「公害・災害を絶対に出さない」を基本に、「循環型社会の形成」「地球環境保全」に配慮した省資源、省エネルギー、廃棄物削減及び化学物質管理など総合的な環境管理活動を展開しています。

#### ◇活動のポイント

- 1) トップダウンと全員参加(ボトムアップ)
- 2) 環境汚染の自主管理と未然防止
- 3) 環境マネジメントシステムに基づく継続的改善
- 4) 法遵守
- 5) 教育とコミュニケーションの充実
- 6) 地域・NEC関西との連携

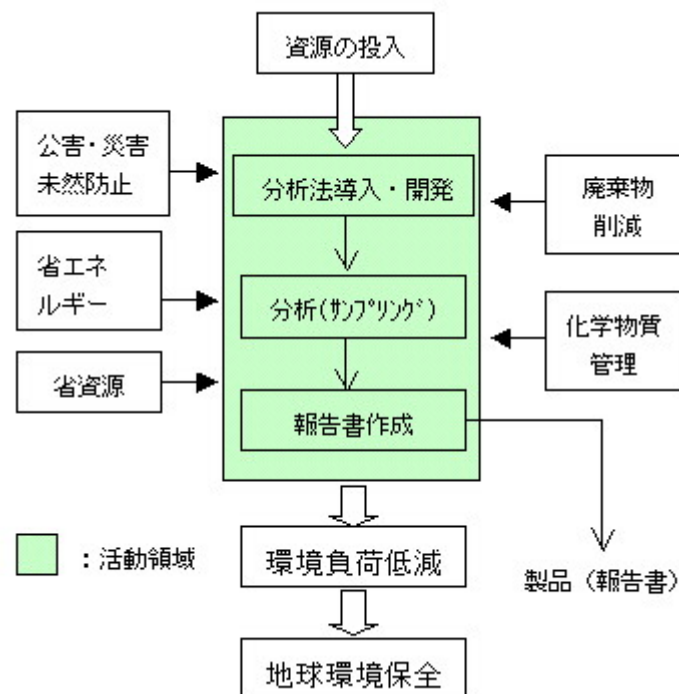


図1 当社の環境管理活動領域

## 4. 環境目的・目標と達成状況(抜粋)

環境目的の項目	管理項目	2000年度 目標値 (環境目標)	2000年度 実績	評価	実施内容と成果
廃棄物 削減	産業廃棄物処理委託量(売上原単位当り)	'90年度比 78%以下 〔累計〕	'90年度比 76% 〔累計〕	A	自動分析法の積極的導入、ビーカースケールのミニマム化を積極的に実施し、目標を達成した。
	産業廃棄物処理費用(売上原単位当り)	'90年度比 43%以下 〔累計〕	'90年度比 40% 〔累計〕	A	
化学物質管理の徹底	物質収支管理実施項目数	6件/年以上 〔累計〕	6件/年 〔累計〕	A	物質収支管理の社内基準に基づき6物質の収支管理を実施した。
	有害化学物質削減・代替策実施件数	1件/年以上 〔累計〕	1件/年 〔累計〕	A	ガスクロマト分析における有機溶媒使用量を削減
省資源	再生紙使用率	86%以上 〔累計〕	92% 〔累計〕	A	分析結果報告書をすべて再生紙に移行
	燃費	10.0 km/L 〔累計〕	9.9km/L 〔累計〕	B	低燃費自動車を導入して社用車の燃費は改善されたが、僅かに目標未達であった
	電子化施策実施件数	2件/年以上 〔累計〕	3件/年 〔累計〕	A	各種社内事務の電子化によりペーパーレスを推進
省エネルギー	電気使用量	94年度比 98%以下 〔累計〕	94年度比 97% 〔累計〕	A	省エネ設備の積極導入と節電ルール徹底により目標を達成

注) 評価 A: 目標以上 B: 75%以上 C: 75%未満 D: 未着手、中止

## 5. 環境測定結果

## (1) 放流水の測定結果(2000年度)

測定項目	規制基準値	自主管理基準値	平均測定値	評価
カドミウム及びその化合物	0.01	0.002	<0.001	○
シアン化合物	0.1	0.02	<0.01	○
有機燐化合物	不検出(<0.1)	不検出(<0.1)	<0.1	○
鉛及びその化合物	0.1	0.02	<0.01	○
六価クロム化合物	0.05	0.02	<0.01	○
砒素及びその化合物	0.05	0.01	<0.01	○
水銀及びその化合物	0.005	0.0010	<0.0005	○
アルキル水銀化合物	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	<0.0005	○
ポリ塩素化ビフェニール	0.003	0.0010	<0.0005	○
トリクロロエチレン	0.3	0.002	<0.001	○
有害物質 テトラクロロエチレン	0.1	0.0010	<0.0005	○
四塩化炭素	0.02	0.0010	<0.0005	○
ジクロロメタン	0.2	0.04	<0.02	○
1,2-ジクロロエタン	0.04	0.008	<0.004	○
1.1.1-トリクロロエタン	3	0.002	<0.001	○
1.1.2-トリクロロエタン	0.06	0.012	<0.006	○
1.1-ジクロロエチレン	0.2	0.04	<0.02	○
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4	0.08	<0.04	○
1,3-ジクロロプロペン	0.02	0.004	<0.002	○
チウラム	0.06	0.012	<0.006	○
シマジン	0.03	0.006	<0.003	○
チオベンカルブ	0.2	0.04	<0.02	○
ベンゼン	0.1	0.02	<0.01	○
セレン	0.1	0.02	<0.01	○
有害物質以外 水素イオン濃度	6.0~8.5	6.0~8.5	7.1	○
生物学的酸素要求量	《90》	19	7.0	○
化学的酸素要求量	《90》	9.2	3.9	○
浮遊物質量	《90》	2.0	<1.0	○
ノルマルヘキサン抽出物質量	《5》	1.0	<0.5	○
フェノール類含有量	《1》	0.02	<0.01	○
銅含有量	《1》	0.10	<0.05	○
亜鉛含有量	《1》	0.10	<0.05	○
溶解性鉄含有量	《10》	0.10	<0.05	○
溶解性マンガン含有量	《10》	0.10	<0.05	○
クロム含有量	《0.1》	0.02	<0.01	○
弗素含有量	《8》	1.0	<0.5	○
大腸菌群数	《3000》	100	0	○
ホウ素含有量	《2》	0.2	0.1	○
アンチモン含有量	《0.05》	0.02	<0.01	○

窒素含有量(総和法)	《60》	1.9	0.69	○
磷含有量	《8》	0.14	0.05	○

注1) 単位は大腸菌群数が個/cm<sup>3</sup>、その他がmg/Lである。

注2) 規制基準値は、滋賀県公害防止条例施行規則(昭和48年、滋賀県規則第10号)

別表第6に定める排水基準である。また《 》の測定項目は、当社の規制対象外である。

注3) 評価欄の○印は平均測定結果が自主管理基準値以下であることを示す。

(2) 排ガス測定結果(2000年度)

測定施設	測定項目	単位	自主管理 基準値	平均 測定値	評価
廃ガス洗浄装置 No. 1	硫酸	mg/m <sup>3</sup> N	5	<1	○
	硝酸	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	50	<1	○
	塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	5	<1	○
	弗素及びその化合物	mg/m <sup>3</sup> N	1	<0.1	○
廃ガス洗浄装置 No. 2	硫酸	mg/m <sup>3</sup> N	5	<0.1	○
廃ガス洗浄装置 No. 3	硫酸	mg/m <sup>3</sup> N	5	<1	○
	硝酸	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	50	<1	○
	塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	5	<1	○
	弗素及びその化合物	mg/m <sup>3</sup> N	1	<0.1	○
廃ガス洗浄装置 No. 4	硫酸	mg/m <sup>3</sup> N	5	<1	○
	硝酸	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	50	<1	○
	塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	5	<1	○
	弗素及びその化合物	mg/m <sup>3</sup> N	1	<0.1	○
有機ドラフト No. 1	ジクロロメタン	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	40	<1	○
	臭気指数	—	30	<10	○
有機ドラフト No. 2	ジクロロメタン	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	40	<1	○
	臭気指数	—	30	<10	○
有機ドラフト No. 3	トルエン	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	80	<1	○
	ジクロロメタン	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	40	<1	○
	臭気指数	—	30	<10	○

注1) いずれの施設とも規制対象設備ではないため規制基準は適用されない。

注2) 評価欄の○印は平均測定結果が自主管理基準値以下であることを示す。

## 6. 環境汚染評価技術の開発

地球環境保全に向かって、私ども環境分析に携わるものの責務は環境汚染物質の濃度を正確かつ迅速に分析し、価値ある情報を提供することにあるとの信念のもと、積極的な新分析技術の導入と精度管理システムの充実に日々努めております。

2000年度の活動 ◇ダイオキシン類分析技術の導入  
◇ダイオキシン類分析精度管理システムの構築と運用  
(環境省による受注資格審査に滋賀県で最初に合格;2001年6月)  
◇環境ホルモン分析技術の拡充



高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置



低濃度試料専用前処理室

ダイオキシン類分析室(ケミカルハザード対策施設)

## 7. 事前評価手法の活用

分析法や装置の導入(開発)段階では、設備等環境安全衛生点検による事前評価手法を活用して、より環境負荷の小さいものを選定しています。

### ◇事前評価手法を活用して導入した設備(2000年度)

設備名称	環境負荷面からみたメリット
高速液体クロマトグラフ (ダイオキシン類分析)	溶剤使用量・廃油発生量削減
多検体濃縮装置	電気使用量削減
マイクロウェーブ試料分解装置	薬品使用量削減・電気使用量削減

### ◇設備等環境安全衛生点検のしくみ

時期	点検種類	点検部門	点検内容
機種選定	A点検	起案部門	消費エネルギー、原材料、アウトプット(大気、水、廃棄物)、危険有害性等安全衛生に関する事項、届出義務
起案時	B点検	安全対策部 会 環境管理課	A点検事項の確認環境影響評価の必要性
納品設置時	C点検	起案部門	A、B点検事項の確認設置後の問題点の有無
稼働	D点検	安全管理者 安全指導員 環境管理課 起案部門 労働組合	総合判定



## 8. 教育・訓練活動

従業員一人ひとりの環境管理に関する自覚と、必要な知識と技能の修得のため、環境マネジメントシステムに基づく教育・訓練活動を積極的に展開しています。

### ◇環境マネジメント教育・訓練活動の種類と目的

教育・訓練の種類	目的
環境マネジメントシステム教育	環境方針・目的目標・ISO14001の要求事項に適合することの重要性を自覚
著しい環境影響の可能性のある作業の要員への教育・訓練	日常業務を行うために必要な薬品取扱、排水処理、排ガス処理、廃棄物処理に関する遵守事項の徹底
著しい環境影響の原因となりうる作業の要員への教育・訓練	薬品管理、排水処理施設運転、排ガス処理施設運転、廃棄物管理の担当者および責任者への必要な知識と技能の修得
社外講習会・セミナー	環境問題に関する幅広い見識の修得と人的交流の推進
環境関連資格の取得推進	法的に必要な資格者養成のみでなく、当社のお客様に対し環境に関する適切な支援ができる人材を養成

## 9. 緊急事態想定訓練・テスト

環境影響評価に基づき特定した環境緊急事態を想定し、対応訓練及びテストを定期的実施して、リスク削減に努めています。



産業廃棄物流出を想定した対応訓練・テストの状況

【想定】  
産業廃棄物（廃酸）流出

【対応手順】  
初期対応（流出阻止）  
↓  
連絡（連絡ルートによる）  
↓  
回収作業  
↓  
復旧確認



放流水pH異常を想定した対応訓練・テストの状況

【想定】  
放流水pH異常

【対応手順】  
初期対応（放流水停止）  
↓  
連絡（連絡ルートによる）  
↓  
原因特定  
↓  
対策（原因除去）  
↓  
pH調整

## 10. 地域貢献活動

環境ボランティア活動を自主企画・実施するとともに行政や地域が主催する環境ボランティア活動にも積極的に参加しています。  
 また、事業所前を流れる盛越川の水質を自主的にモニタリングしています。



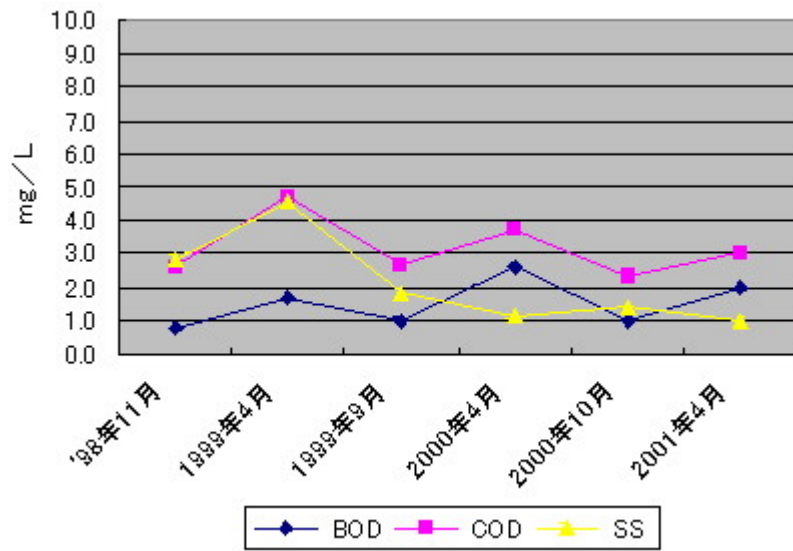
盛越川清掃(自主企画)



琵琶湖ヨシ刈り(大津市主催)



盛越川水質モニタリング(採水)



問い合わせ先

株式会社近畿分析センター  
環境管理課

郵便番号520-0833  
大津市晴嵐二丁目9番1号  
TEL:077-534-0651